

分野（領域）	専門基礎分野	科目名	臨床病態論Ⅳ (脳・神経系)
単位（時間）	2 (42時間うち21時間)	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	外部講師		
科目目標	1. 脳・神経系の疾患が理解できる。		
<p>【講義内容】</p> <p>人体の構造と機能</p> <p>第8章 情報の受容と処理</p> <p>A. 神経系の構造と機能 B. 脊髄と機能 C. 脊髄神経と脳神経 D. 脳の高次機能 E. 運動機能と下行伝導路 F. 感覚機能と上行伝導路 G. 眼の構造と視覚 H. 耳の構造と聴覚・平衡覚 I. 味覚と嗅覚 J. 痛み（疼痛）</p> <p>成人看護学 脳・神経</p> <p>第2章 脳・神経系の構造と機能</p> <p>A. 神経系の分類と機能 B. 中枢神経系（脳と脊髄） C. 末梢神経系 D. 脳・脊髄の保護構造と循環系 E. 運動機能と感覚機能</p> <p>第3章 症状とその病態生理</p> <p>A. 脳・神経障害とは B. おもな症状とその病態生理</p> <p>第4章 検査・診断と治療・処置</p> <p>A. 診断と診察の流れ B. 検査 C. 治療・処置</p> <p>第5章 疾患の理解</p> <p>A. 脳疾患 B. 脊髄疾患 C. 末梢神経障害 D. 筋疾患・神経筋接合部疾患 E. 脱髄・変性疾患 F. 脳・神経系の感染症 G. 中毒 H. てんかん I. 認知症 J. 内科疾患に伴う神経疾患</p>			
<p>【テキスト】</p> <p>(脳神) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経 第2章～第5章 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 第8章</p>			
<p>【評価】</p> <p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p>			

分野（領域）	専門基礎分野	科目名	臨床病態論Ⅳ (運動器系)
単位（時間）	2 (42時間うち21時間)	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	外部講師		
科目目標	1. 運動器系の疾患が理解できる。		
<p>【講義内容】</p> <p>人体の構造と機能 第7章 身体の支持と運動 A. 骨格とはどのようなものか B. 骨の連結 C. 骨格筋 D. 体幹の骨格と筋 E. 上肢の骨格と筋 F. 下肢の骨格と筋 G. 頭頸部の骨格と筋 H. 筋の収縮</p> <p>成人看護学 運動器 第2章 運動器の構造と機能 A. 骨 B. 関節 C. 神経と筋肉 D. 腱と靭帯 第3章 症状と病態生理 A. 疼痛 B. 形態の異常 C. 関節運動の異常 D. 神経の障害 E. 異常歩行または跛行 F. 筋肉の障害 G. その他の障害 第4章 診断・検査と治療・処置 A. 診察・診断の流れ B. 検査 C. 治療・処置 第5章 疾患の理解 I. 外傷性（外因性）の運動器疾患 A. 骨折 B. 脱臼 C. 捻挫および打撲 D. 神経の損傷 E. 筋・腱・靭帯などの損傷 II. 内因性（非外傷性）の運動器疾患 A. 先天性疾患 B. 骨・関節の炎症性疾患 C. 骨肉腫および軟部腫瘍 D. 代謝性骨疾患 E. 筋および腱の疾患 F. 神経の疾患 G. 上肢および上肢帯の疾患 H. 脊椎の疾患 I. 下肢および下肢帯の疾患 J. ロコモティブシンドロームと運動器不安定症 K. 廃用症候群</p>			
<p>【テキスト】</p> <p>(運動) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[10] 運動器 第2章～第5章 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 第7章</p>			
<p>【評価】</p> <p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p>			